

## 取扱説明書

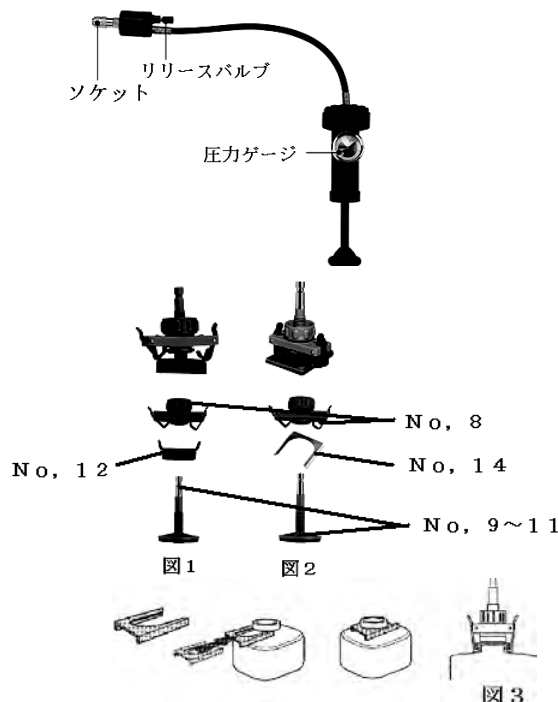
ラジエーター・テスター 品番：#39121100 型式：RT919S

## 1, 適応車種

- No, 1 : メルセデスベンツ  
 No, 2 : アウディーA4、A5、A6  
 No, 3 : オペル、フォルクスワーゲン、フォード  
 No, 4 : BMW  
 No, 5 : BMW  
 No, 6 : ボルボ、シトロエン、ルノー、フィアット、プジョー  
 No, 7 : アウディ、フォルクスワーゲン  
 No, 8 : アジャスタブルシート  
 No, 9 : 50mm国産車、ヨーロッパ車対応シート  
 No, 10 : 35mm国産車、ヨーロッパ車対応シート  
 No, 11 : 27mm国産車、ヨーロッパ車対応シート  
 No, 12 : コーディネートキャップ  
 No, 13 : 汎用キャップ (サイズの合う物に使用して下さい。)  
 No, 14 : ステンレスファスナー  
 No, 15 : ホンダ、トヨタ  
 No, 16 : 三菱、フォード、日産、マツダ  
 No, 17 : フォード  
 No, 18 : フォード  
 No, 19 : メルセデスベンツ  
 No, 20 : フォード

(No, 8~12, 14は、図1, 2を参考に使用して下さい。)

※上記の適応車種は参考です。実際、現車に取り付けて確認して下さい。



## 2, 使用方法

- No, 1~7, 13, 15, 16, 19, 20は車輛のラジエーターキャップと同様に、そのまま使用可能です。
- No, 17, 18を使用する場合は、まず、No, 9~11の中から車輛に合う物を選択して下さい。そして、No, 17, 18の中央のネジ穴に、No, 9~11の何れかを反時計回転方向に回して、確実に締め込んで下さい。
- ヨーロッパ車に使用する場合で、No, 1~7, 16~20のアダプターで合わない場合は、No, 8, No, 12とNo, 9~11の中から車輛に合うものを選択して下さい。No, 8の爪をNo, 12のコの字部分にはめ込み、No, 8の中央のネジ穴に、No, 9~11の何れかを反時計回転方向に回して確実に締め込んで下さい (図1参照)。
- 国産車に使用する場合で、No, 15, 16のアダプターで合わない場合は、No, 8, 14とNo, 9~11の中から車輛に合うものを選択して下さい。図3を参考にNo, 14をリザーバータンクの口金下部に挿入し、No, 8の中央のネジ穴に、No, 9~11の何れかを反時計回転方向に回して確実に締め込んで下さい (図2参照)。最後にNo, 14にNo, 8の爪を引っ掛けて下さい。
- ラジエーターの水温が完全に下がってから、ラジエーターキャップを取り外して下さい。
- 使用車種に適合するアダプターを、確実に取り付けて下さい。
- ポンプのホース先端のソケットを、アダプターのプラグに差し込んで下さい。『カチッ』と音が鳴ると接続完了です。
- ポンプのハンドルを伸縮させて、ラジエーター内の圧力 (ポンプ付属のゲージ) を100kPaにして下さい。
- ラジエーター、パイプ、ホース、タンクから水漏れが無い事、ポンプのゲージの針が下がっていない事を確認して下さい。ゲージの針が下がると、ラジエーター内よりリーク (水漏れ等) が発生しています。適切な処置 (修理) を行って下さい。
- リーク、ゲージの針が下がらない場合は、更に2~3分程度ラジエーター内に圧力を掛けた状態にして、異常がない事を確認して下さい。
- 作業終了後は、ポンプのソケットの横にあるリリースバルブを押して、ラジエーター内の圧力 (ポンプ付属のゲージ) を0kPaにして下さい。
- 車からアダプターを取り外し、ポンプのハンドルを2~3回伸縮させて下さい。ポンプ内の水を取り除く事が出来ます。

## 3, 注意事項

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ①使用後直ぐに (ラジエーターの水温が下がっていない状態)、ラジエーターキャップを開けないで下さい。ラジエーター液が噴出し、火傷をする恐れがあります。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①本機のポンプを使用して、ラジエーター内の圧力を必要以上に高く (140kPa) しないで下さい。パイプとホースの接続部分から、ラジエーター液が漏れる恐れがあります。
- ②使用車種に適合しない形状のアダプターを、無理に取り付けて使用しないで下さい。正確にテストが出来ない場合があり、ラジエーター、本機の破損に繋がります。
- ③車種によって使用出来ない場合があります。御了承下さい。
- ④本機の清掃に、シンナー等の化学薬品を使用しないで下さい。パッキン破損の原因になります。
- ⑤ラジエータータンク内に圧力を掛けた状態で、ラジエーターからポンプ、アダプターを取り外さないで下さい。ラジエーター液が噴出する恐れがあります。必ず、圧力を抜いてから、取り外して下さい。
- ⑥セット内容に破損、変形等の不良がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ⑦分解、修理、改造はしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなり、事故の原因になります。
- ⑧本機は、ラジエーター各部の水漏れを点検する道具です。その他の用途には使用しないで下さい。
- ⑨ポンプ、アダプター、ソケットは、定期的に洗浄して下さい。故障の原因になります。
- ⑩ラジエーターに取り付けたアダプターを、斜め方向に力を掛けしないで下さい。空気、液漏れの原因になります。